令和 7 年度

事業者番号	0116	事業所番号	011604

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1　事業所の概要

（1）事業所種別

事業所種別	
C	C　平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)

（2）事業所及び事業内容

事業所名		グランエミオ所沢1期2期（スロープ棟含む）
事業所所在地	市区町村	所沢市
	字・地番	くすのき台一丁目14番地の5
産業分類名（中分類）		56 各種商品小売業
分類番号（中分類）		56
事業活動の概要	事業内容	雑貨、カフェ、食品等の小売業

2　事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

（1）第３計画期間の削減目標

計画期間						
		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO_2（必須）	第3計画期間の基準排出量に対し、削減計画期間中、年平均で８％以上を削減します。				
	その他ガス					
エネルギー起源CO_2の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	28,508	t-CO_2			
	削減目標量(計画期間合計)	2,480	t-CO_2	事業所区分	第1区分－(1)	

（2）第４計画期間の削減目標

計画期間						
		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO_2（必須）	基準排出量に対し削減計画期間の平均削減率目標 ３１%以上とします。 必要に応じて排出量取引を活用。				
	その他ガス					

事業所番号	011604

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）　　C事業所(2)

３－1　事業所の温室効果ガス排出量

（1）原油換算エネルギー使用量の推移

	計画期間				
	令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
原油換算エネルギー使用量(kL)	2,465	3,049	3,128	3,196	3,220

（2）計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO_2換算（t-CO_2）

		計画期間				
		令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
エネルギー起源CO_2		4,804	5,940	6,095	6,225	6,271
	前年度比（％）	―	23.6	2.6	2.1	0.7
その他ガス	非エネルギー起源CO_2					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		4,804	5,940	6,095	6,225	6,271

（3）計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO_2）

CO_2換算（t-CO_2/指標）

			計画期間				
			令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
エネルギー起源CO_2排出量原単位			74.1587	91.6950	94.0877	96.0945	96.8046
	前年度比（％）		―	23.6	2.6	2.1	0.7
活動規模の指標	単位						
延床面積	千m^2		64.78	64.78	64.78	64.78	64.78

（４）エネルギー起源CO_2排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度（2020年度）	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	無	設備の増減	有	
	面積、設備増 2020年9月2日に第2期エリアが開業したため増加。 前回報告でも2期工事分を含んだ面積で作成はしていたが、最新の確認申請書類を確認したところ、差異があったため、本計画書の値に訂正する。※前回報告時の面積 69,600㎡、本計画書の面積 66,532.32㎡ 排出量対前年度３５増加の要因 2020年9月2日に第2期エリアが開業したことによる。						
令和３年度（2021年度）	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	有	設備の増減	有	
	感染症における行動緩和が広がり、昨年度より営業時間および来客者数も増加のため、エネルギー使用量増。						
令和４年度（2022年度）	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	
	年間を通じて、感染症の影響を受ける事無く営業活動が出来た事で、来客人数が増加。 主にレストランの稼働が上がり、設備負荷が上昇、ＣＯ２排出量が２．６％増加した。						
令和５年度（2023年度）	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	
	下記の理由により、2023年度のCO2排出量が前年度比2.1%増加した。 ・新型コロナウイルス感染症の第5類移行による施設利用者の増加 ・例年よりも猛暑が続いたことによる冷房負荷の増加 前年度と比較して、店舗数・店舗営業時間共に大きな変更はなく、 使用量はほぼ同等であったため、施設利用者の増加によるものと推考。						
令和６年度（2024年度）	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	
	大幅な改装および設備管理のオペレーションの変化はない。 春先から夏場にかけての外気温の変動のため昨年度より熱負荷が増加した結果、電気・ガス使用量が増加し、CO2が微増したものと思慮。						

事業所番号	011604

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）　　C事業所(4)

３－２　温室効果ガス削減目標に係る状況

（１）　基準排出量

基　準　排　出　量	7,747	t-CO_2/年
基準排出量の検証	実施済	

（２）　基準排出量の変更

	変　更　年　度	変更量（t-CO_2/年）
1		
2		
3		
4		
5		

（３）目標削減率

目標削減率の区分	第１区分－（１）

（４）削減計画期間

3	年度から	6	年度まで

（５）年度ごとの状況

（排出量等の単位：t-CO_2）

		令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)	削減期間合計
基準排出量等	基準排出量(A)		7,747	7,747	7,747	7,747	30,988
	目標削減率の緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)		8.00%	8.00%	8.00%	8.00%	
	排出上限量（C＝Σ A-D）						28,508
	排出削減目標量(D＝Σ(A×B))						2,480
実績	エネルギー起源CO_2排出量(E)		5,940	6,095	6,225	6,271	24,531
	削減率（F＝（A－E）/A）		23.33%	21.32%	19.65%	19.05%	－
	排出削減量（G＝A－E）		1,807	1,652	1,522	1,476	6,457
各年度の排出量の検証			実施済	実施済	実施済	実施済	

4　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

Ｎｏ	対策の区分			対策概要	実施予定年度	実施した年度	推計削減量(t)（1年度当たり）
	区分番号	区分名称					
		大区分	中区分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策推進会議（６回／年）を開催	R3	R3	
2	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	各テナントへ温暖化対策の協力(店長会資料に対策案記入)	R3	R3	
3	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	月々水光熱の使用量の管理	R3	R3	
4	120300	熱源設備･熱搬送設備	12_運転管理及び効率管理	通路用熱源の設定・実測値記録・管理	R3	R3	
5	130300	空気調和設備･換気設備	13_換気設備の運転管理	季節毎の空調スケジュール管理・設定変更。中間期の一部空調送風停止。	R3	R3	159.2
6	130300	空気調和設備･換気設備	13_換気設備の運転管理	休憩室等の空調温度下限設定	R3	R3	
7	130300	空気調和設備･換気設備	13_換気設備の運転管理	各階駐車場等の給排気ファンの不要時間の停止(夜間OFF)	R3	R3	7.1
8	140200	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給排水設備の管理	夏季/冬季による、電気温水器・トイレウォシュレットの温水・便座温度調整(OFFまたは低温)	R3	R3	3.7
9	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	季節毎の外灯照明スケジュール管理	R3	R3	
10	130300	空気調和設備･換気設備	13_換気設備の運転管理	各階駐車場等の給排気ファンの開店前時間の停止（早朝OFF）	R3	R3	2.3
11	180200	その他	18_その他	新規テナントに対して、省エネを意識した店舗設計を行うよう促す	R7以降		
12							
13							
14							
15							

５　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

（※希望者のみ記載）

自由記述欄